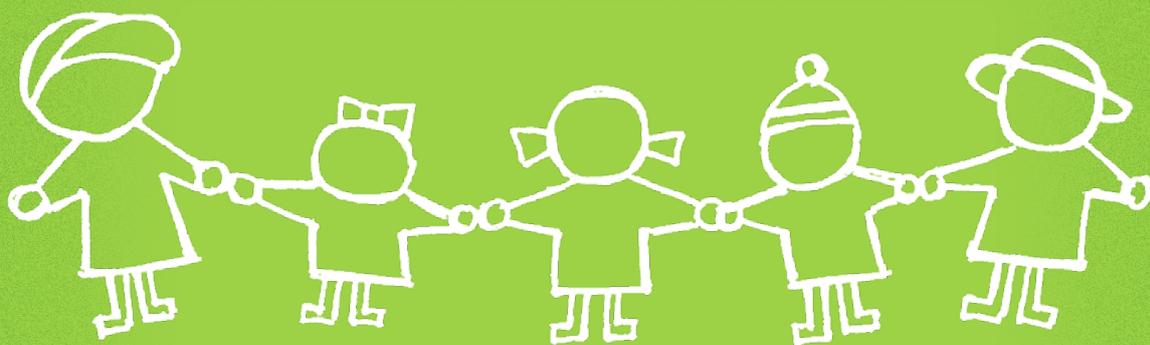


社会福祉法人

福音寮

子ども達が安心して暮らせる



地域社会のつながりをつくります

理 念

「ほっとした つながりで 育ち合いましょう」

社会福祉法人福音寮は、「子ども達そして関係する人々みんなが、あたたかな環境の中で“ほっとした”気持ちになり、信頼の“つながり”のもとで、互いに“育ち合う”こと」をめざします。

職員行動指針

「誠実・信頼・成長（3S）」

社会福祉法人福音寮の職員は、「常に“誠実”さを大切にし、誰からも“信頼”されるような関係づくりと自らの“成長”」を行動指針として、理念の実現に向けて考え・行動します。

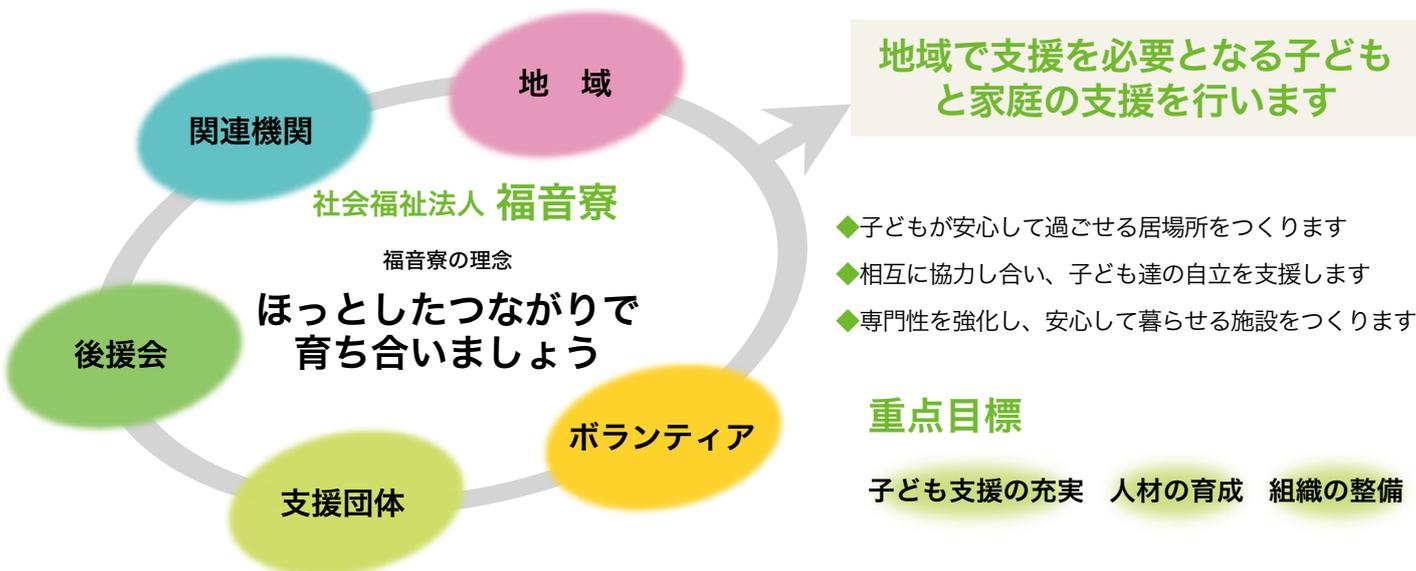
理念・職員行動指針にこめた思い

核家族化が進み、地域のつながりが希薄になる中で、人と人とのつながりが以前にも増して大切になっています。

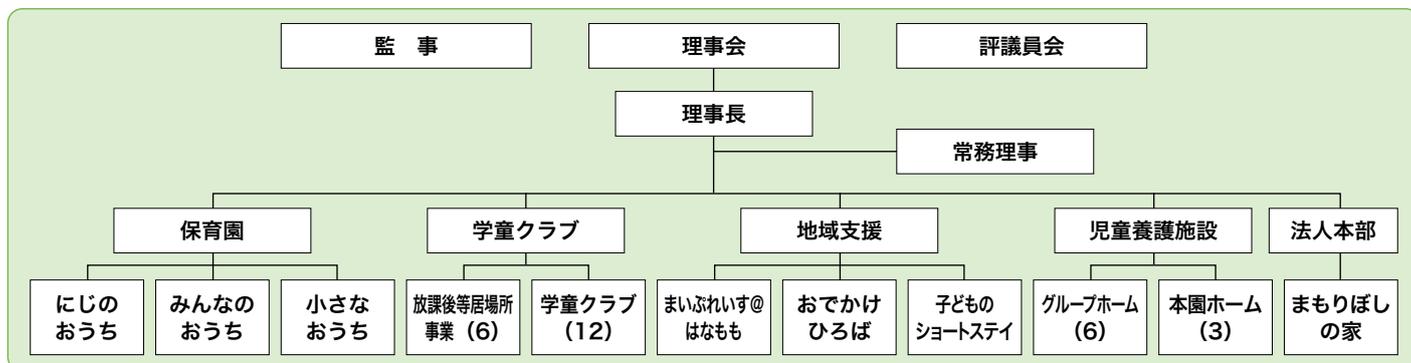
社会福祉法人福音寮は、これまでの歩みを基本に据えながら、平成18年に職員全員でめざす方向性（理念・職員行動指針）を定めました。



子ども達が安心して暮らせる地域社会のつながりをつくります



組織図



子ども支援の充実・地域支援への取り組み

昭和27年、社会福祉法人としての認可を受けて以来、地域の方々のご協力を得ながら様々な事業を展開し、地域で支援を必要とする子どもと家庭の支援に取り組んでいます。

地域子育て支援においては、世田谷区子どものショートステイ事業、杉並区放課後児童健全育成(学童クラブ)事業、世田谷区おでかけひろば事業を運営受託し、行政と連携した子育て支援を積極的に担い、平成25年4月、福音寮で初めての保育園を開設しました。保育園は、地域の子育て中の親子が集う居場所であり、地域支援には必須の施設と考えています。保育園の開設は学童クラブが運営された平成18年に計画されましたが、幾多の課題に直面しながらようやく実現に至りました。現在では3か所の保育園を運営しています。令和3年8月からは、子どもと家庭を支える学習・生活支援の拠点事業を世田谷区から運営受託しています。

社会的養護に長年かかわってきた法人として、今後も一層の充実を図り各事業に取り組んでまいります。また、児童福祉法の改正により、当法人の果たす役割と地域支援はますます期待されています。私たちの使命は、児童養護施設の運営とともに在宅の子育てを地域で支援してきた福音寮の環境を活かしながら、地域のニーズに応え、子どもたちが安心・安全に過ごせるあたたかな地域社会を目指して事業運営を進めていくことだと考えています。

福音寮には次世代を担う職員を育てる仕組みがあります

メンター制度

新任職員が孤立せず少し上の先輩と相談できる関係づくりを行い、新任職員のキャリアプランを明確にし、やりがいを持って仕事ができるようメンター制度に取り組んでいます。採用後2年以上の職員がメンターとなり採用間もないメンティに1対1で対応します。

メンターは、新任職員にとってロールモデルとなるような存在であり、気軽に相談できる存在となるよう、メンターの育成にも力を入れています。

研修制度

新任研修に力を入れ、新任職員が孤立したり一人で悩んだりせずに仕事ができるようサポートをして、定着に向けた支援を行っています。また、外部研修参加の機会も設けています。その他、法人全体研修、事業別研修、階層別の研修などを実施しています。様々な研修を通して、制度の学習や子どもの支援についてを学び、職員がより良い子どもの支援を行えるような仕組みとなっています。

キャリアアップの仕組み

人事考課制度に基づき、一般職（1等級）として入職後、主任格（2等級）、係長格（3等級）、課長格（4等級）、部長格（5等級）へとキャリアアップの道が開かれています。



福音寮創設へ

昭和 20 年 8 月、終戦当時の日本はほとんどが焦土と化し、ありとあらゆるものが欠乏し、混乱と喪失感、疲弊感に覆われていました。東京では東京駅の周辺をはじめ、上野や新宿など駅頭や地下道、公園等いたるところで父母を失ったり、はぐれたりした戦災孤児や浮浪児が当てのないままさまよっていました。

子ども達は堅いコンクリートの上で寝起きをし、生きていくために街頭で靴磨きをしたり、時には犯罪に手を染めることもありました。

当時の荒廃した世相の中では、誰もがわが身を守るのに精いっぱい一般には社会福祉などへはとても思いが及ばない時代でした。

こうした事態を憂い、何とか救済の手段がないものかと児童救済活動を行っていたのが、桜上水の小高い丘に居を構えていた米国人宣教師ヘレン・タッピング女史でした。同じ頃、子ども達の悲惨な状況に何かできないかと胸を痛めていたのが、福音寮創設者の堀内キンです。

キンはタッピング女史の紹介を受け、思いに強く共鳴し、自身の貯金を取り崩しながら、施設立ち上げのため『満鉄寮』の一部を借り上げ、終戦の年も暮れようかという時、浅草寺の地下壕から一人の身寄りのない女兒を連れ帰ってきました。福音寮のはじまりです。



福音寮 旧施設長
堀内キン先生



1949年 自給自足の生活



1952年 冬のどかな一日

キンは子ども達の救済のため、多くの知己を訪ね歩き、友人や知人、隣人や親類まで多くの支援を仰ぎ、タッピング女史からマーク・ロギー氏（元東京地区憲兵副官）を紹介され、さらに J. T. ニコラス氏（米軍政部元中佐）の知遇を知ることになります。ロギー氏から児童収容に奔走する上での輸送機関（現 JR）のフリーパスを受け、ニコラス氏からは基金のご寄付を受け、昭和 25 年福音寮の現有地に初めて自前の施設を新設することができました。

昭和 27 年、福音寮は社会福祉法人として養護施設の運営を開始しました。児童の定員は 50 名、施設長は理事長である堀内キンが兼任しました。その後昭和 39 年に児童棟、同 49 年には管理棟等の施設整備を行い児童の生活の基盤が作られていきました。昭和 45 年には堀内キンのこれまでの功績が認められ、国際孤児協会より国際婦人賞が贈られます。日本人で 2 人目の受賞となりました。



J.T.ニコラス牧師
J.T.ニコラス牧師



新しい福音寮の基盤作り

昭和 58 年初代理事長堀内キンは老齢により勇退し、安藤龍夫が理事長に就任、大里利男が後任施設長に就任しました。大里施設長は施設の環境改善のため増設や修繕工事を実施するとともに、児童の定員を 50 名から 45 名へ変更し施設運営の刷新と近代化へ取り組みました。

平成 4 年には、建物の老朽化が顕著となり、全面的に整備の検討がされるようになりました。養護施設は変革期を迎えており、新しい福音寮についても、子ども達の家庭的支援をさらに進め、また地域交流・地域の子育て支援事業を行えるよう、協議検討が重ねられ、平成 13 年 5 月、1 年半の工期を経て新築工事落成式を迎えることとなりました。

児童編成は男女混合完全縦割りとし、子どもたちが生活するホームを 4 か所、100 人が入場できる大ホール、面談室、心理室等が整備され、福音寮が地域化、社会化を進める大きな基礎を築くことになりました。その後、福音寮にとって初めてのグループホームを同年 10 月に開設しました。地域分散化を進めた結果、令和 4 年現在では 6 か所のグループホームを設置、入所児童の約 6 割以上が地域の中で家庭的な生活ができるようになりました。

平成 14 年 7 月大里利男施設長退任により、飯田政人が施設長（現理事長）に就任し、その後福音寮は大きく事業展開を進めていきます。



後援会

福音寮の後援会は、社会福祉法人福音寮が行う各種事業への理解と支援、そこで生活する子どもたちへの応援、社会福祉事業のより一層の発展に寄与することを目的として平成 21 年 9 月に発足しました。

地域の方や卒園生、旧職員の方が後援会の会員になって下さっています。地域のニーズに応えるべく事業展開をしてまいりました当法人ですが、皆様のご理解とご支援こそ何よりもの支えと感謝申し上げます。

今後も理念を大切に更なる地域の子育て支援の充実を図ってまいります。

主な活動

《活動支援》

- ・ 児童養護、後援会の行事を通じて施設児童や卒園生との交流
- ・ 福音寮の行事への参加（バザーの準備協力、コーナーの参加）
- ・ 児童養護施設の卒園生支援

《資金支援》

- ・ 高校生フィリピンボランティアへの支援協力
- ・ 学校卒業児童（中学 3 年生）のお祝い品贈答

※詳細につきましては事務局までご連絡下さい。

社会福祉法人 福音寮 後援会事務局 Tel 03-3302-5600

児童養護施設 福音寮

児童養護施設福音寮では、様々な事情により、家庭で生活出来ない子どもたちが生活しています。子ども達は、近隣の幼稚園や学校へ通い、地域の皆さんやボランティアさんに見守られながら生きる力を育んでいます。福音寮では3つの柱を中心に支援を行っています。

家庭的支援

小規模化

小さな単位で生活することにより、子どもたち一人ひとりをより手厚く支援することができ、子どもたちがいつでも職員に相談できる環境を築いていきます。また、将来の家庭を持つイメージが持てるよう住環境の整備も併せて進めてきました。現在では本園ホーム3ユニット、地域の中に、6ヶ所のグループホームを設置し、より家庭に近い環境で暮らせるようになりました。

- 本園ホームは、リビング、台所、浴室、トイレを備えたユニット型の全室個室になりました。また、各ホームに玄関を設置したことで「行ってらっしゃい」「ただいま」「おかえりなさい」が自然に飛び交うようになりました。

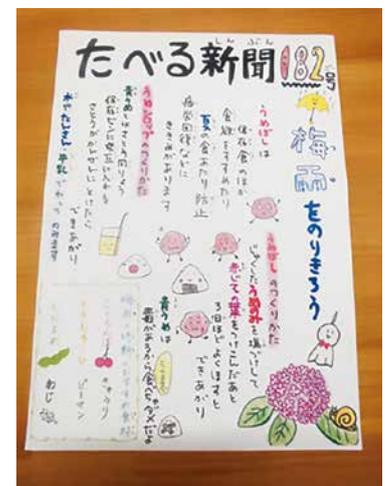


ホームでの食事づくり

- 福音寮の各ホームでは完全調理を行っています。

職員と子どもがさり気ない会話を交わしながら、食事を作ることで、子ども達の心の安定にもつながっています。

- ホームの食事作りは献立作成から調理まで子どもの希望を反映させながら、それぞれのホームで特色のある食事づくりが行われています。子どもの身近にいる職員が食事を作ることで、子ども達の食の関心も高まっています。やがて調理技術の習得にもつながり「生きる力」に結びついていきます。



30年続いている「食べる新聞」毎月ホームの子どもたちと作成しています



地域交流・地域支援

子ども達は、地域の中で暮らしながら、地域の皆さんに支えられて生活しています。たくさんの地域の方がボランティアさんとして支援してくださっています。地域の皆さんと、育ち合う福音寮を目指しています。

また、本園の敷地内には、おでかけひろばやショートステイ、保育園があり、世代を超え、地域の子もたちとの交流の貴重な機会となっています。

福音寮にいる子どもたちにしかできない生活体験をする機会をたくさん持ち、その経験が今後の礎となるようにと思っています。



自立支援・アフターケア

福音寮を卒園する準備として、主に次のような支援をしています。施設には、自立支援を専門とする「自立支援担当職員」が配置されており、子どもたちの自立支援・アフターケアを行っています。また、アフターケアは、職員だけでなく、地域の皆さんや卒園者等、多くの方々に支えられています。

- 自立支援室では、一人暮らしの体験を通して子どもたちが自分自身と向き合い、これまでの過ごしてきた日々を振り返り、卒園に向けて気持ちや課題の整理をします。ここから通学やアルバイト等しながら、それぞれの進路や生活する場所を決定していきます。将来どうしたいのか、じっくり職員と話を重ねて取り組むことで、卒園後も相談しやすい関係性を築きます。
- アフターケアでは、地域の皆さんからご寄付でいただいた食材や日用品を退所した子どもたちへ「ふるさと便」として届けています。「ふるさと便」は地域に皆さんのあたたかいご支援で成り立っており、地域の中で暮らす子どもたちが地域に支えられていることを実感できる機会となっています。また、卒園後に緊急的に活用できる場所として「まもりぼしのいえ」という一軒家が本園の近くににあります。卒園後の一時休息や再スタートの場所として活用し、卒園した子どもたちがいつでも福音寮に戻ることができる場所となっています。
- 卒園者による居場所活動の事業を行っています。「卒園者同士集まって話す機会が欲しい」と先輩の卒園者の発案により、令和3年10月からお昼をはさんで月1回の活動が始まりました。定期的な開所により「いつでも帰って来られる居場所」となっています。
- 「児童養護施設福音寮プロッサム基金」は、地域の支援者より資金援助を賜り、子どもたちの塾代の費用等の進学支援や生活の支援と充実、卒園した子どもたちへの支援に活用しています。花が満開に咲き誇るように、子どもたちも元気よく希望に花を咲かせてほしいというあたたかい願いが込められた基金です。福音寮の子どもたちがより一層充実した進路支援が出来るよう、また、子どもたちが夢と希望を持って福音寮を巣立つことが出来るよう支援を行っています。





ショートステイ事業

対象年齢… 2歳～12歳、期間…原則一週間以内

子どもを養育している方が、病気・出産・また出張、育児疲れなどで一時的に養育できなくなったときに、福音寮で短期間子どもをお預かりします。

トワイライトステイ事業

対象年齢…小学生、期間…原則年30日以内

子どもを養育している方が、仕事等により帰宅時間が夜間にわたる場合などに一時的に子どもをお預かりします。

平成15年4月に開始した子どものショートステイ事業は、年々利用実績が増えています。育児疲れや育児不安、子育てと仕事の両立や核家族化により相談できる人がそばにいないなど、環境の変化も大きく関係しています。そんな時、福音寮のショートステイを利用し少しの間離れることで、ほっと一息ついてお互いを見つめ直すことができます。

子どもたちの過ごし方

- 福音寮では、子どもが家庭に近い環境で安心して暮らせることを大切にしています。
- 福音寮本園内に占有スペースを設け、小さな集団規模でお預かりできるようにしています。
- ショートステイルームの中には広いキッチンとリビング、子どもたちが宿題をしたり一人で過ごせる時間をつくれるよう、それぞれ個室も設けています。
- 利用の前には子ども達が安心して過ごせるよう、保護者・子どもとの面談、施設見学の機会を設け家庭での過ごし方をうかがいます。
- 利用期間中は、通っている幼稚園や保育園、学校へも職員が送迎し、普段と変わらない生活ができるようにしています。
- 休日には近くの公園へ出かけたり、施設内の園庭や室内で遊んだりして過ごします。



子ども家庭支援センターと協力しながら、子ども・保護者双方の支援を行い、子ども達が安心して家族のもとで温かい暮らしが継続できるように支援を行っています。

ご利用の際は、世田谷区の子ども家庭支援センターにお問い合わせください。



福音寮ぽっぽちゃんひろば

ぽっぽちゃんひろばは、福音寮本園施設の3階に併設されています。対象年齢は主に0歳から3歳（未就学児童）です。福音寮や保育園の利用者と同じ玄関を使うので、ひろばに集まった保護者や子どもだけでなく、色々な方との交流が福音寮のぽっぽちゃんひろばにはあります。



ぽっぽちゃんひろばの特徴

- お母さんやお父さん、おじいさん、おばあさんとお子さんの遊び場
- お友達同士や地域の親御さんの交流の場
- 地域の子育て情報収集・発信の場
- 子育て相談の場

子育て中の保護者が悩みや想いを共有することで、ほっと安心感が生まれ、子育てに関する心強さを感じ、自信を育みます。



ぽっぽちゃんひろばの活動・イベント

- 定期的に保育園の砂場を借りてお砂場交流を行っています。
- 時期ごとのイベントや交流会も行っています。季節に合わせた工作、水遊び、ハロウィンやクリスマス等、他にも幼稚園や保育園はどんな所なのか等の情報も発信しています。
- 災害対策を考え、月に1度、防災訓練を行っています。いざという時の備えや地域との連携、子育て家庭に必要なもの等、実践を通しながら共に考える機会を設けています。
- 法人の保育園の職員による話や質問会もあり、保育園を知る良い機会になります。

ボランティアとの協働

ぽっぽちゃんひろばはボランティアさんの協力で成り立っていると言っても過言ではありません。様々なところで活動を支えていただいています。

- 近隣の大学生によるイベントや日々の活動の協力
- 裁縫ボランティアさんの手作り玩具
- 読み聞かせボランティアさんの手遊び歌
- 園芸ボランティアさんの野菜の栽培





子どもと家庭を支える学習・生活支援の拠点事業

子どもと家庭を支える学習・生活支援の拠点事業「まいぷれいす@はなもも」は、経済的な理由等で支援を必要とする家庭の中学生が、平日や土日の16時から21時に、安心した空間で、勉強をしたり、ごはんを食べたり、自由に過ごすことができるように、居場所を提供し支援する事業です。

定期的な利用を通じて、中学生が学習や生活の習慣を身につけ、高校進学も見据えながら、本来持っている力を発揮できるように、世田谷区から委託を受け、令和3年8月より運営しています。

- 子どもたち一人ひとりが主役になれること、子どもたちが「したい」を見つけ、「したい」を「できる」にしていくことを大切にしています。
- 子ども自身が選択できる、あるいは自分の意見を伝えることができる機会の提供を積極的に行いながら、子どもの権利に基づいて運営しています。

居場所提供

ユーススタッフ（大学生スタッフ）とおしゃべり、ゲーム、読書などをしながら、自分のペースでリラックスして時間を過ごすことができます。

子どもたち一人ひとりの興味・関心をきっかけに、ユーススタッフが一緒に活動したり学習したりしながら関係性を構築し、子どもたちにとって安心して過ごすことができる居場所となっています。



学習支援

子どもたち一人ひとりの状況に合わせ、子どもと一緒に学習計画をつくります。その計画をもとに個別の学習支援（週2回）や自主学習をサポートします。



生活支援

夕飯を一緒に食べ、調理や片付け・掃除を子どもたちと一緒にを行います。誕生日会や季節ごとのイベント、ものづくりなどの体験活動も子どもたちとともに企画し、行います。



相談支援

子どもや保護者の方の悩みや困りごとの相談にのります。

保護者の方には、中学卒業に向けた進路や子育てに関するお役立ち情報を講座やメールなどでお伝えしています。

※「まいぷれいす@はなもも」の利用対象は、利用登録をした世田谷区に在住の中学生です。利用登録には条件がありますので、詳しくは世田谷区子ども家庭課にお問い合わせください。



学童クラブは、保護者の就労等により昼間留守になる家庭の子どもが放課後安心して楽しく過ごすための生活の場です。平成 18 年より杉並区の学童クラブを受託運営しており、現在 12 か所のクラブを運営しています。対象は小学生です。

福音寮の学童クラブ

- 福音寮の学童クラブは、児童養護施設での家庭的な支援を活かし、学校と家庭の単なる中継地点ではなく、子ども達が家に帰るまでの間、安心してほっとできる生活の場を作っていきます。
- 子ども達がやってみたいと思う気持ちを大切に、チャレンジする心を育み、子どもが自らの可能性を発揮して健やかに成長するための支援を行っています。
- 日々の対話を大切に、一人ひとりの思いにきちんと向き合い、子ども達がほっとできる居場所づくりを築いています。
- 笑顔になれる、笑顔で過ごせる、そして明日を楽しみに思えるように毎日のプログラムを組んでいます。
- 大切な学童期に、無我夢中になり我を忘れて目を輝かせて遊ぶ、子ども本来の姿を大切に、人とつながる大切さを伝えていきます。
- 子ども達がありのままの自分を出し、子どものすべてを受け入れられる学童クラブを目指します。

子どもの自立支援

- 学童クラブでは、遊びを通して年齢相応の経験を積み、子ども一人ひとりの素敵な一面を発見し、子ども達がお互いを認め合える心の成長を支援すること、そして、子どもの自主性、自立を育むことに重点を置いています。
- 学童クラブで子ども達一人ひとりが輝ける場をつくり、自己肯定感を感じ、自信につなげる支援をしています。
- 学童クラブでの生活や遊びの中で「自らが選択と決定をする」機会を増やし、その判断を尊重し、支援します。
- 特別支援児を受け入れ、職員が架け橋となって、子ども達がお互いを理解して過ごせるように支援しています。お互いが尊重し合う、思いやりのある集団を目指して、一步ずつ、子ども達の成長につながる支援を行っています。
- 七夕やクリスマス、もちつき、節分等の季節の行事や、地域・児童館の行事、親子参加のイベントなど、各クラブが工夫してさまざまな年間行事を行います。



学童クラブ・放課後等居場所事業

家庭支援

- 親子の絆が深まるように、子ども達の日常の様子をお話できる機会を多く設けています。保護者同士や、保護者と職員のつながりができるように工夫しています。
- 保護者との信頼関係のもと、子育てに対する不安や悩みを気軽に話せるように、相談しやすい環境づくりに心がけています。
- 付加的サービスとして早朝育成やケータリングサービスを行っている学童クラブもあります。付加的サービスは、保護者と共に支え合うという視点で保護者の方と話し合いながら決めていきます。
- 専門的な相談は、杉並区子ども家庭支援センター等に相談しています。



地域との関わり

- 学童クラブが地域とつながることによって、子ども達が地域で育ちやすいように支援します。
- 地域の温かな眼差しが子ども達に向くよう、地域交流行事や児童館行事に積極的に参加しています。
- 地域の方々と積極的に関わり、地域の子育てニーズを把握し、そのニーズに合った取り組みを行っています。
- 地域の方々と世代間交流を行います。子ども達が地域の方々と関わることによって、お互いが自然と笑顔になります。地域の方々の優しさに触れ合う機会をつくっていきます。
- 公園や図書館の使用等、積極的に地域資源を活用します。





放課後等居場所事業

放課後等居場所事業とは、学校を活用して、小学生の居場所(自由来所型の遊び場・居場所)づくりを行うものです。学校を利用した居場所事業であり、放課後そのまま帰宅することなく利用できることが特徴です。平成29年4月より杉並区の放課後等居場所事業を受託運営し、現在(令和4年度)は6カ所の放課後等居場所事業を受託しています。

放課後、学校を活用して子ども達の安心できる居場所を提供し、子ども達自身が異年齢の集団遊びを通して協調性や社会性を身につけ、自立を支援しています。

- 子ども達の多様な遊びや活動を支援しています。
- 子ども同士の交流や仲間づくりを支援しています。
- 健全な遊びや様々な体験活動を提供し、子どもの成長を支援しています。
- 地域の様々な方の協力を得ながら、読書や読み聞かせ、学習支援、スポーツ、工作、昔遊び、伝承遊びなど、様々なプログラムを随時実施しています。
- 学校、子育てプラザ、関係機関と連携し、子どもたちが健やかに育つよう支援しています。
- 地域の方々と共に放課後等居場所事業の運営を一緒に作っていきます。



保育園

平成25年4月、福音寮で初めての保育園を開設しました。

福音寮本園施設に隣接して保育園をすることにより、様々な事情で集まっている子ども達、保護者、そして地域の方々がお互いの存在を知ること、良い「化学反応」が起こることを期待しています。

児童養護、学童クラブ、ショートステイやおでかけひろばなどの経験を通して「家庭的な保育」を実践したいと考えています。

小さなうち保育園

- 小さなうち保育園は園児数1クラス6名、園児数30名で家庭的な保育に取り組んでいます。
- 三角屋根の小さな園舎と、園舎の前の庭には小さな築山があり、子ども達は家庭的な環境で日々すくすくと育っています。
- 児童養護本園施設の敷地の一部に開設されたため、児童養護のお兄さんお姉さん、ぽっぽちゃんひろばに遊びに来られた親子との声掛けを通じた交流があります。



おでかけひろばとの連携

- 保育園の保護者同様、ひろば利用者、地域の小さな子どもがいる保護者の方の悩みや不安の声をいち早くキャッチできるよう取り組んでいます。
- 砂場や園庭を開放し、地域の方々安全に遊べる場を提供しています。



みんなのうちに保育園

- 福音寮2園目となるみんなのうちに保育園は、平成27年に開設した園児数103名の保育園です。
- みんなのうちに保育園では0歳児保育、夜8時15分までの延長保育、また一時保育を行っています。
- 都営アパートに隣接し、近くには障がい者施設や高齢者施設があります。たくさんの方々に見守られ、ともに子育ての喜びを共感できるような保育園作りを目指しています。
- 桜上水5丁目自治会・都営アパート自治会・地域の皆さまのご協力のもと、保育園の目の前にある緑豊かな公園をいつも使わせていただいています。
- 区内で子育てをしているの方々に向けて一時保育を実施しています。





にじのおうち保育園

- 福音寮3園目となるにじのおうち保育園は平成29年7月に開園しました。園児数は50名の保育園です。0歳児保育、夜8時15分までの延長保育を実施します。
- 畑に囲まれた緑豊かな地域であり、自然にふれる機会を多く持つことができます。
- 「土と農の交流園」が隣接しているので、そこに集う高齢者や地域の方々との交流を行っています。



3園の連携

- 3園が徒歩圏内にあるため、各園の子ども達が交流できる機会を積極的に持ちます。

5歳児クラスの取り組み

- ・週1回、公園や保育園で集団あそびやルールのある遊びを行っています。
- ・世田谷区教育センターのプラネタリウムの観覧や秋の遠足、お別れ遠足には3園合同で出かけます。

各園の園児数が違うので、少人数の園でも合同で交流することで集団生活の経験を積んでいます。今後もそれぞれの特徴を活かしながら交流していきます。

- 食事は、各園の栄養士同士で独自のメニューを考案しています。福音寮が大事にしている「家庭的な」食事場面を意識し、配膳方法や食事場面に配慮しています。おやつも手作りにこだわっています。

妊娠期から未就学児までの親子の皆さまへ

- 「ほいくえんで一緒に遊びませんか」を開催しています。同時に保育所体験も行っています。どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

小中学生のボランティア、育児体験は随時受け付けています。

福音寮の保育園で大切にしていること

子どもをみる目

- ・子どもの行動を肯定的に捉え、「何でも好きな子ども」になれるよう育ちを支えています。

子どもへのかかわり方

- ・子どもの気持ちを思い図り、子どもの語る言葉を大切にしながら、子どもの心の中や気持ちに伝えていくよう努めます。
- ・愛着への対応 子どもから大人に示す要求や欲求を触れ合いながら優しく受け止めます。

家庭との協働

- ・子どもの家庭での暮らしや子育ての価値観、育児等につい

ての相談に耳を傾け共感するとともに、保護者の気持ちに寄り添っていきます。

- ・子ども一人ひとりの月齢や発達段階、個々の育ちに合わせ、子育ての課題を見極め、共に子どもを育てていきます。

地域に信頼される保育園

- ・保護者に対してはもちろん、団地等、地域の方々に挨拶を交わします。
- ・地域の催しには子ども達と共にできる限り参加し、親しみを持っていただけるよう努めます。



昭和 20 年 (1945 年)	10 月	米国宣教師故タッピング女史の児童救済施設の設立発起に前理事長堀内キンが共鳴創立する
	11 月	旧満州鉄道関係の寮の一部を借り上げ児童養護施設として活動開始
昭和 23 年 (1948 年)		児童福祉法による養護施設として認可
昭和 25 年 (1950 年)		J・T ニコラス氏の尽力により初めて自前の養護施設を新築落成
昭和 27 年 (1952 年)		社会福祉法人として認可
昭和 39 年 (1964 年)		福音寮 男子棟新築
昭和 48 年 (1973 年)		福音寮 本館新築
平成 4 年 (1992 年)	8 月	堀内キン理事長退任 安藤龍夫理事長就任
平成 11 年 (1999 年)	5 月	福音寮 施設整備事業 2 ヶ年計画開始
平成 12 年 (2000 年)	12 月	福音寮 整備工事竣工完成
平成 13 年 (2001 年)	10 月	福音寮 第 1 分園 “さくらホーム” 開設
	11 月	福音寮 皇太子妃殿下ご視察
平成 15 年 (2003 年)	4 月	児童短期保護事業 (ショートステイ・トワイライトステイ) 開始
平成 16 年 (2004 年)	4 月	権利擁護第三者委員会設置
平成 18 年 (2006 年)	3 月	福音寮 第 2 分園 “かえでホーム” 開設
	4 月	杉並区より『松ノ木小学童クラブ』及び『和泉学園学童クラブ (旧新泉学童クラブ)』受託 運営開始
	10 月	福音寮 第 3 分園 “すみれホーム” 開設
	11 月	福音寮 皇太子妃殿下ご視察
	12 月	評議員会設置
平成 20 年 (2008 年)	2 月	福音寮 第 4 分園 “つばきホーム” 開設
	2 月	世田谷区よりおでかけひろば事業受託開始
平成 21 年 (2009 年)	5 月	福音寮 第 5 分園 “あやめホーム” 開設
	4 月	福音寮 専門機能強化型施設開始
	4 月	杉並区より『東田学童クラブ』、『杉二学童クラブ』及び『杉七学童クラブ (旧阿佐ヶ谷南学 童クラブ)』受託運営開始
	9 月	福音寮後援会発足
平成 22 年 (2010 年)	4 月	杉並区より『桃五学童クラブ』及び『今川北学童クラブ』受託運営開始
平成 24 年 (2012 年)	8 月	福音寮 第 6 分園 “くぬぎホーム” 開設
	10 月	福音寮 マレーシア ハミナ王妃ご視察
平成 25 年 (2013 年)	4 月	認可保育所 小さなうち保育園開園
平成 26 年 (2014 年)	4 月	杉並区より『高二学童クラブ』受託運営開始
平成 27 年 (2015 年)	4 月	認可保育所 みんなのおうち保育園開園
平成 28 年 (2016 年)	3 月	福音寮 ジンバブエ グレース・ムカベ大統領夫人ご視察
	6 月	福音寮 皇太子妃殿下ご視察
	9 月	福音寮 大規模修繕工事開始
平成 29 年 (2017 年)	3 月	福音寮 大規模修繕工事完了
	4 月	杉並区より『高三学童クラブ』『放課後等居場所事業』受託運営開始
	7 月	認可保育所 にじのおうち保育園開園
平成 30 年 (2018 年)	5 月	安藤龍夫理事長退任
	6 月	飯田政人理事長就任
平成 31 年 (2019 年)	4 月	杉並区より『桃二学童クラブ』『高井戸学童クラブ』受託運営開始
令和 2 年 (2020 年)	4 月	福音寮 退所者支援『まもりぼしのいえ』開設
令和 3 年 (2021 年)	8 月	世田谷区より『まいぶれいす @ はなもも』受託運営開始
令和 4 年 (2022 年)	4 月	杉並区より「和泉学園学童クラブ校外育成室」受託運営開始



・法人本部		
社会福祉法人福音寮	東京都世田谷区上北沢 3-1-19	Tel 03-3302-5600
・児童養護施設		
福音寮（本園 3 ホーム、グループホーム 6 か所）	東京都世田谷区上北沢 3-1-19	Tel 03-3302-5600
・子どものショートステイ・トワイライトステイ（子育て短期支援事業）		
	東京都世田谷区上北沢 3-1-19	Tel 03-3302-5253
・おでかけひろば（地域子育て支援拠点事業）		
ぽっぽちゃんひろば	東京都世田谷区上北沢 3-1-19	Tel 03-3302-5600
・まいぷれいす @ はなもも（子どもと家庭を支える学習・生活支援の拠点事業）		
・学童クラブ（放課後児童健全育成事業）・放課後等居場所事業		
松ノ木小学童クラブ	東京都杉並区松ノ木 1-2-26 松ノ木小学校内	Tel 03-3316-9294
和泉学園学童クラブ・いずみんなクラブ	東京都杉並区和泉 2-17-14 杉並和泉学園内	Tel 03-3323-6107
和泉学園学童クラブ校外育成室	東京都杉並区和泉 2-36-11	Tel 03-5300-5081
東田学童クラブ・チャッピーズワイド	東京都杉並区成田東 1-21-1 東田小学校内	Tel 03-5378-8831
杉二学童クラブ・はっぴいタイム	東京都杉並区成田西 3-4-1 杉並第二小学校内	Tel 03-3314-2208
杉七学童クラブ	東京都杉並区阿佐谷南 3-19-2 杉並第七小学校内	Tel 03-5347-0661
桃五学童クラブ・ももごスマイルひろば	東京都杉並区下井草 4-23-8	Tel 03-3399-5185
今川北学童クラブ	東京都杉並区今川 2-22-23	Tel 03-3397-1201
高二学童クラブ	東京都杉並区久我山 4-49-1 高井戸第二小学校内	Tel 03-3332-7812
高三学童クラブ	東京都杉並区下高井戸 4-16-24 高井戸第三小学校内	Tel 03-3303-0563
桃二学童クラブ・ももにランド	東京都杉並区荻窪 5-10-25 桃井第二小学校内	Tel 03-3392-8027
高井戸学童クラブ	東京都杉並区高井戸西 2-5-10	Tel 03-3334-1071
・保育園（認可保育所）		
小さなうち保育園	東京都世田谷区上北沢 3-1-20	Tel 03-6379-6571
みんなのうち保育園	東京都世田谷区桜上水 5-3-28	Tel 03-6379-8911
にじのうちは保育園	東京都世田谷区桜上水 2-11-1	Tel 03-5357-8722



アクセス 京王線「桜上水駅」または「上北沢駅」より徒歩約8分

社会福祉法人 福音寮

〒156-0057 世田谷区上北沢3-1-19
 TEL : 03-3302-5600 FAX : 03-3302-6791
<https://www.fukuinryo.or.jp>

